

石山

新宿区立戸山小学校

校内研究

研究主任

本校は昨年度までの3年間、東京都の授業改善推進拠点校として、国語科を中心に研究を進めてきました。国と都の調査結果の分析から、本校の児童には、①児童がすすんで自己解決しようとする学習方法を構築すること②どの児童も45分間集中し、思いや考えをもち、表現することの2つの点につながる授業づくりが必要である、と確認し、授業改善に取り組みました。今年度は、国語科の授業を中心に他の教科でも、児童の意見から学習計画を立てる、意図的な話し合い活動や振り返りの時間をもつ等の実践につなげるための授業研究を行いました。小学校でも教科担任制が広まる中で、教員が授業展開について共通理解をし、今後も児童の課題解決につながるような授業改善に取り組んでまいります。

自分に厳しく、「鬼は外！」

副校長 諏訪部 浩志

人は皆、自身の健やかな成長を願い、夢の実現に向けて自分磨きをしています。これは大人も子どもも一緒のことでしょう。子供たちは多くの時間を学校で過ごし、生活体験や教科学習を通して、自分を成長させるために日々の学習に取り組んでいます。「勉強ができるようになりたい」、「友達と仲良く過ごしたい」など、目標に向かって努力する子どもたちを我々教職員は温かく見守り、時に厳しく指導しています。

先日、野球殿堂入りに関する報道がありました。イチロー氏、岩瀬仁紀氏、掛布雅之氏、富澤宏哉氏の4人が選出されました。中でもイチロー氏は、その後のMLB野球殿堂入りでも選出され、多くの人々の喝采を受けました。イチロー氏の小学校の卒業文集には次のような内容が書かれていたそうです。「ぼくの夢は、一流のプロ野球選手になることです。・・・・・・活躍できるようになるには、練習が必要です。ぼくは、その練習には自信があります。ぼくは3才の時から練習を始めています。・・・・・・3年生の時から今までは、365日中、360日は、はげしい練習をやっています。・・・・・・。」輝かしい活躍の裏には幼いころからの強い意志と絶え間ない努力があったのだと思いました。

私自身の過去を振り返ると、大きな目標は立てたもののそれが実現に至らずに途中で挫折してしまうことがありました。人は往々にして楽な道を選びたがるものです。「まあ、いいか」、「次から頑張ろう」など、心の中に弱い部分が出てきた時に、それにどう打ち克つかが栄光と挫折の分岐点なのかもしれません。

さて、2月2日は節分です。節分には古来より豆まきをする風習があります。豆は「魔滅」に通じ、無病息災を祈る意味があると言われています。自分がまだ担任をしていた頃、学級で、退治したい鬼について話し合い、豆まきをしたことがありました。「忘れ物鬼・悪口鬼・怠け鬼」など、その時に課題となっていたことを豆まきで退治したことを思い出します。

皆さんの心に棲む鬼は、何鬼ですか？自分に厳しく、多少の困難には負けない強い心をもつ人間でありたいものです。自分を変えたい成長させたいと思った瞬間から人は変わり、成長するのです。さあ、節分には、ご家族お揃いで「鬼は外！福は内！！」

書初めについて

書写担当

1月27日から2月8日は、書写展です。新しい年を迎えて抱負や目標など、思いを込め集中して取り組むよい機会となりました。

書写展の期間、クラスごとに鑑賞日を設定し、同学年、他学年の作品を鑑賞します。

学校公開にご来校の際には、努力の結晶をぜひご覧ください。

学年の窓 5年

5年担任

5年生の子どもたちは、あと数ヶ月で最高学年、6年生になります。毎年この時期になると、6年生から5年生へ、最高学年としての役割の引き継ぎが行われています。

6年生がリーダーになって取り組むふれあい班活動では、徐々に5年生が中心になって遊びの内容を考えたり、説明をしたりするようになります。

また、毎朝欠かさず屋上に校旗を掲げること、6年生の仕事です。5年生は6年生が校旗を掲げていたことに気付いているでしょうか。

6年生と一緒に過ごしていく中で、最高学年としての振る舞いを、しっかりと見て、聞いて、学んで、来年度につなげていけるようにしていきます。